

NEC N8160-73 外付DAT(USB) Startup Guide スタートアップガイド

はじめにお読みください

箱を開けてから本装置が使えるようになるまでの手順を説明します。
このスタートアップガイドにしたがって作業してください。



856-850858-101-A 2006年8月 第1版

本書は大切に保管してください。

使用上のご注意

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

本書にはどこが危険か、どのような危険に遭うのか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。本書、および警告ラベルでは危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されます。

警告 人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。

注意 火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(感電注意)
行為の禁止	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(接触禁止)
行為の強制	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならぬ行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(プラグを抜く)

(本書での表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	電源がONのまま取り付け・取り外しをしない 本体装置への取り付け・取り外しの際や、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続しているACコードをACコンセントから抜いてください。ACコードがACコンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。	注意

本書および警告レベルで使用する記号とその内容

注意の喚起			
	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	本装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。		
行為の禁止			
	特定しない一般的な禁止を示します。		本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
行為の強制			
	本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。

安全上のご注意

全般的な注意事項

	警告
	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御を目的とした使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産被害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。
	煙や臭い、異音が生じたまま使用しない 万が一、煙、臭い、異音などが生じた場合は、ただちに本体装置の電源をOFFにしてACコードをACコンセントから抜き、本製品のDCケーブルを抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。
	針金や金属片を差し込まない 通気孔やカードリッジ挿入口から金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。
	注意
	製品内に水や異物を入れない 製品内に水などの液体、ビンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐに本体装置の電源をOFFにしてACコードをACコンセントから抜き、本製品のDCケーブルを抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡してください。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

	注意
	通気孔をふさがない 本製品の前面にある通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、誤動作の原因となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。
	プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは本体装置のACコードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしてもACコードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。
	指定以外のインタフェースケーブルを使用しない インタフェースケーブルは、NECが指定するものを使用し、接続する製品やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。 また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。 <ul style="list-style-type: none">■ ケーブルを踏まない。■ ケーブルの上にもものを載せない。■ ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。■ 破損したケーブルを使用しない。■ 破損したケーブルコネクタを使用しない。■ ネジ止めなどのロックを確実に行ってください。
	腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。 また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫酸など)や導電性の金属などが含まれている環境へも配置しないでください。装置内部のプリント基板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。 もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合には、販売店または保守サービス会社にご相談ください。
	高温注意 本装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。

運用中の注意事項

	注意
	カードリッジ挿入口に手を入れない カードリッジ挿入口に手を入れないでください。手を挟まれたり、巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。
	雷がなったら触らない 雷が鳴りだしたら、DCケーブルに触れないでください。感電の原因となります。
	ペットを近づけない 本製品にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が製品内部に入って火災や感電の原因となります。
	近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない 本製品のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

© NEC Corporation 2006 NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。

本書の内容は予告なく変更することがあります。乱丁・落丁はお取替えいたします。

裏面もお読みください

電源・電源コードに関する注意事項

	注意
	電源がONのまま取り付け・取り外しをしない 本体装置への取り付け・取り外しの際や、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続しているACコードをACコンセントから抜いてください。ACコードがACコンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。
	中途半端に差し込まない DCケーブルはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込みと接触不良のため発熱し、火災の原因となる場合があります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。
	指定以外の接続をしない DCケーブルの接続や配線は本書の説明に従って正しく行ってください。指定以外の接続や配線は火災や感電の原因となるおそれがあります。
	破損したケーブルを使用しない ケーブルを接続する前にコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり、汚れたりしていないことを確認してください。破損や曲がっているコネクタおよび汚れたコネクタを使用するとショートにより火災を引き起こすおそれがあります。
	指定以外のケーブルを使用しない ケーブルを接続する前にコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり、汚れたりしていないことを確認してください。破損や曲がっているコネクタおよび汚れたコネクタを使用するとショートにより火災を引き起こすおそれがあります。

お手入れに関する注意事項

	警告
	自分で分解・修理・改造はしない 本製品の分解や、修理・改造は絶対にしないでください。製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。
	本製品でお客様が行える分解は次の作業のみです。次に記述する以外の分解は絶対しないでください。 <ul style="list-style-type: none">■ ブラケットの取り外し/取り付け■ DC・信号ケーブルの取り付け/取り外し
	プラグを差し込んだまま取り外さない お手入れは、本体装置の電源をOFFにして、ACコードをACコンセントから抜き、本製品のDCケーブルを抜いてください。たとえ電源をOFFにしても、ACコードを接続したまま製品内の部品に触ると感電するおそれがあります。
	注意
	中途半端に取り付けない DCケーブルやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

Microsoftとそのロゴ、およびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

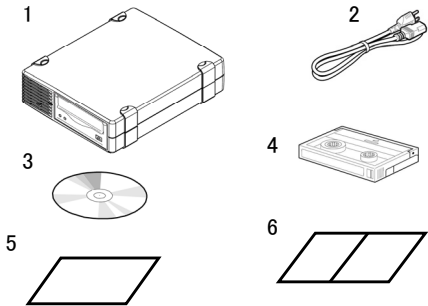
本装置の詳しい取り扱いについては、添付のCD内のユーザーズガイドに記載されています。本装置を使用前に必ずユーザーズガイドもお読みください。

このスタートアップガイドは再生紙を使用しております。

1. 添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品がそろっていることを確認してください。

	品名	個数
1	N8160-73 外付DAT(USB)	1
2	電源ケーブル	1
3	CD(デバイスドライバ、ユーザーズガイド)	1
4	クリーニングカートリッジ	1
5	スタートアップガイド(本書)	1
6	保証書	1



2. 本体装置への取り付け

本体装置への取り付け方法を以下に示します。

1. USBケーブルの接続

USBケーブルを本体装置(サーバ側)のUSBコネクタに接続します。

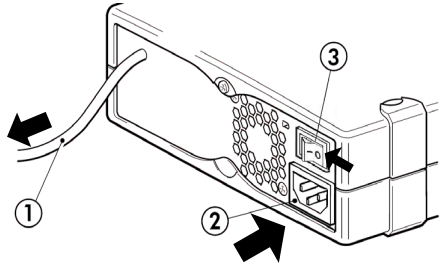
2. 電源ケーブルの接続

電源ケーブルを本製品の電源コネクタに接続します。

3. 本製品電源スイッチを入れる

装置背面の電源スイッチを入れてください。

その後、本体装置(サーバ)の電源を入れてください。



重要

・本製品はUSBハブを経由しての接続は不可となります。

・本体装置のUSBコネクタへ直接接続してください。

・本装置を縦置きで使用することは不可となります。

・本体装置の電源投入前に本製品の電源を入れてください。

システム起動後に本製品の電源を投入すると、バックアップソフトとの間の設定で認識がずれる場合があります。その場合、ソフトの再設定が必要ですのでソフトとユーザーズガイドを参照ください。

・OS起動中に本製品のUSBケーブルを抜いたり、電源をOFFしないでください。

バックアップソフトとの間の設定で認識がずれる場合があります。その場合、ソフトの再設定が必要ですのでソフトとユーザーズガイドを参照ください。

・本製品にデータカードリッジを挿入したまま移動しないでください。本製品の故障の原因となります。

・バックアップ完了後は、カートリッジを取り出してください。

3. ドライバのインストール

※例としてWindows Server 2003(32bit)を記載しておりますが、基本的な手順は他でも変わりません。

本製品のドライバは「USBドライバ」と「デバイスドライバ」の2つがあります。「USBドライバ」はWindowsのシステムで本製品を使用する場合、基本的に必須です。「デバイスドライバ」はWindows/バックアップ(システムツール)を使用する方のみ必要です。

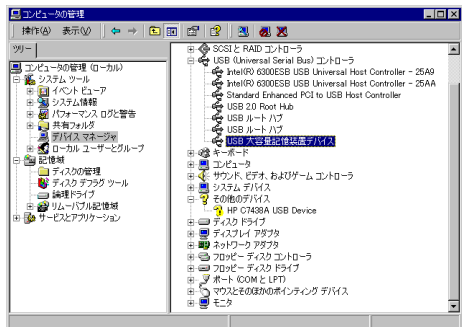
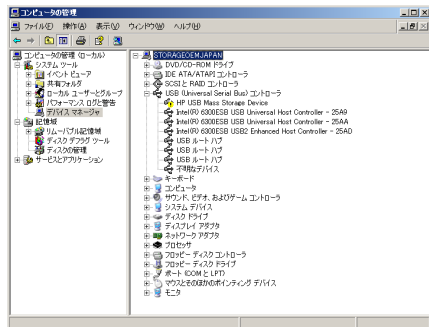
～ USBドライバのインストール ～

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をポイントして、「システム」をクリックします。「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
2. 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。「デバイスマネージャ」ダイアログボックスが表示されます。
3. 「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」に「HP USB Mass Storage Device」と表示されていることを確認し、「HP USB Mass Storage Device」をダブルクリックします。「HP USB Mass Storage Deviceのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。



重要

ここで、すでに「USB大容量記憶装置デバイス」と表示される場合、Windows標準のドライバが自動的にインストールされています。その場合でも、本製品添付のCDに入っているUSBドライバを適用しておいてください。手順は、「USB大容量記憶装置デバイス」を右クリックし、プロパティからドライバの更新を選択します。その後は次頁の手順5からと変わりません。※本製品添付のドライバ以外を使用すると、エラーの原因となる場合があります。



4. 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックします。「ハードウェアの更新ウィザード」が表示されます。



5. 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」を選択し、添付のCDを挿入して、「次へ」ボタンをクリックする。「下の一覧からハードウェアに最適なソフトウェアを選んでください。」画面が表示されます。

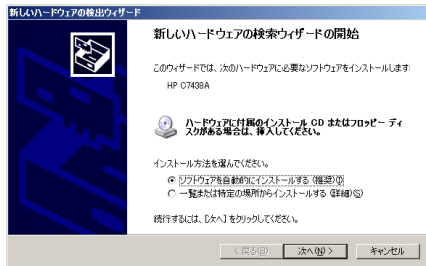
6. 一覧から「d:\device\driver\usbdriver\win2003\32\hpusbsmc.inf」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。「ハードウェアの更新ウィザードの完了」画面が表示されます。

※「d:」はお客様のシステム構成により異なります。この手順ではドライバにCDドライブが割り当てられています。

※一覧表示に表示されない場合、直接Windows2003のフォルダ内のhpusbsmc.inf ファイルを選択してください。

7. 「完了」ボタンをクリックします。

8. 数秒後、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が表示されます。



重要

本製品をWindowsバックアップで使用する場合は、そのまま次の手順へ進んでください。本製品をWindowsバックアップ以外のオプションのバックアップソフトで使用する場合は「キャンセル」でインストールを終了させてください。バックアップソフトのドライバのインストール手順は、各ソフトの手順に従ってください。

～ デバイスドライバのインストール ～

9. 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。「下の一覧からハードウェアに最適なソフトウェアを選んでください。」画面が表示されます

10. 一覧から「d:\device\driver\hapedriver\win2003\32\hpdpt.inf」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面が表示されます。

11. 「完了」ボタンをクリックする。

12. 「デバイスマネージャ」ダイアログボックスの「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」に「HP USB Mass Storage Device」と表示されていることを確認する。同じく、「テープドライブ」に「Hewlett Packard DAT72 drive」と表示されていることを確認します。

